

健康経営を目指して

私たちの仕事は経験が重要な仕事です。職員にはより長く勤めてもらいたいという思いがあります。
今後も健康経営を推進していくことで、職員にとって長く働きやすい環境を整え、更により良い支援に繋げていきます。

課題・取り組み目標

- ・生活習慣病（メタボ）リスク者の低減
- ・身体活動リスク者の割合の低減
- ・喫煙率の低減
- ・協会けんぽとの連携による職員の健康状態の把握
- ・職員の健康保持と人材定着
- ・職場コミュニケーションの活性化

健康経営の効果分析

当法人では、健康経営を行い、具体的に効果を検証しているのは以下の内容です。

- ・職員の健康状態
- ・職員満足度調査
- ・職員のコミュニケーション促進の為に福利厚生行事の参加傾向
- ・フィットネスや部活動参加による運動習慣がある職員の推移
- ・ストレスチェックの集団分析の活用

効果が示唆される分析結果の例

健康経営に取り組み始めたことによる効果

- ・ストレスチェック受検率の向上2018年度39%→2019年度54%
- ・協会けんぽとの連携による特定保健指導初回面談実施率の向上2016年度5.4%→2018年度77.4%
- ・研修参加による健康意識の向上（研修後、受講者の100%がよく理解できたとアンケートに回答。※女性特有の疾病研修）
- ・運動の習慣化…部活動の参加者数増加、新規クラブ・活動の創立

効果分析からみえてきた課題

運動習慣がある職員は全体の35%であった。職員の心身の健康維持・増進を図るためにも適度な運動を行う事が重要と捉え、既存クラブの促進以外にも職員の趣味に合わせた新規クラブの創立等を法人でバックアップする。部活動全体の加入者数を増やし職員が習慣的に運動出来る機会を設けていく。

指標	推移					目標
	2016	2017	2018	2019	2020	
バレー部加入者数	17人	18人	22人	22人	25人	
野球部加入者数	33人	34人	36人	37人	40人	
バドミントン部加入者数	—	—	—	—	10人	
部活動加入者合計数	50人	52人	60人	78人	90人	
フィットネスの参加延べ人数	—	—	—	136人	200人	
メタボリスク者率	10.5%	8.9%	7.9%	—	7.0%	
喫煙率	30.0%	30.2%	28.2%	25.0%	22.0%	
特定保健指導初回面談実施率	5.4%	65.0%	77.4%	—	80.0%	

2019年度の活動

～体制整備と社内周知～

- ・健康経営担当者会議の開催
- ・健康経営の取り組み紹介

～施策～

- ・特定保健指導
- ・職員向けアンケートの実施・集計
- ・研修等、健康関連の教育
- ・部活参加の推進・フィットネスクラブの開設
- ・職員・家族・地域の交流促進に向けた行事の企画
- ・本部にある体育館を地域に開放